
クロバネヒメテントウが自宅電灯に飛来

(兵庫県甲虫相資料・298)

高橋 寿郎

1994年7月15日の21時過ぎ、自宅(神戸市兵庫区氷室町)の電灯に小型のテントウムシが飛来した。この個体は、体長1.7mm、頭・前胸・体下面が黄褐色、眼が黒色、上翅も黒色でやや光沢があるが全面に軟毛を有し、体下面も光沢がある。いろいろ検討してみたが、Kamiya(1965)が沖縄本島と西表島産で記載したクロバネヒメテントウ *Axinoscymnus nigripennis* と同定した。その後、佐々治(1985)は原色で図説し、分布に台湾を加えている。

1994年の夏は連日すごい猛暑で(神戸新聞によると神戸地方の7~8月は100年に一度の暑さとのこと)、南の方にいる虫たちがなんらかの方法で飛来したのかとも思う(7月19日夜にも1頭が電灯に飛来した)。

兵庫県新記録種であると同時に、本州新記録になると考えられるので、ここに記録しておく。

参考文献

Kamiya, H. (1965) Coccinellid-Fauna of the Ryukyu Islands, South of the Amami Group (Coleoptera), Kontyu 33 (1) :100-101.

佐々治寛之(1985)原色日本甲虫図鑑(Ⅲ), 保育社, 大阪.